



ESC 情報



新年度を迎えて

本年も入社式の季節となりました。

ここ数年巷では採用難と言われておりますが、当社においては今年も若き力を仲間を迎えることができ、うれしく思います。今年には技術職の新人に加え、営業職の新人も入社しております。また、パート社員から正社員への転換者が一名おります。今後の彼らの成長を期待します。また、若手社員、先輩社員も新人を成長させるとともに自己の能力も向上させ、事業の発展に寄与してくれることを期待します。

当社は今期で創業より第50期目となります。ここまで来られたのは、当社設立者の向井隆をはじめ歴代社長の皆様、社員一人一人のまじめな仕事の積み重ねはもちろんですが、北海道電力様をはじめ、様々なお客様からのご支援があったからこそと思っております。次の10年目、20年目に向けて精進してまいりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

さて、今年は1月頃より新型コロナウイルスの話題でニュースが埋まっているような状態です。当初は中国・武漢の都市のみということのようでしたが、気が付くと全世界で発症者が出るという状況となりました。北海道では札幌雪まつり等のイベントが多かったせいか、一時は北海道が発症者の一番多い地域となっていました。ただ、手洗いの励行等のおかげか、例年よりもインフルエンザの流行は抑えられているようです。

いずれにせよ、健康体であることが肝要なことと思います。北海道は4月5月と運動に適した季節になってまいります。日頃より健康に留意し、食生活の改善や運動管理などを行っていき、冬季の間に鈍った体を少しずつでも健康体に変化させていきましょう。

仕事も遊びも全力で。ただし、業務に差し支えない範囲で行うことが大前提となります。業務に真剣に取り組むことで、その対価として給料が支払われます。その給料が無いと私生活も謳歌できません。また、会社から支払われる給料はお客様から頂いた仕事の対価でもあります。いかに満足のいく製品やサービスをお客様に提供し、その対価を得ることができるか、特に新入社員をはじめ若手社員に考えてもらいたいところです。先輩や会社のためではなく、お客様のためになる仕事をいかにするか。一人一人がそのところを意識して仕事をするすることで、お客様の信頼に応える仕事ができるようになると思います。

その気構えを持って新年度の仕事に取り組みましょう。どうぞご安全に。



代表取締役 向井 潔



新年度のご挨拶

4月の初めは年度変わり、この季節は弊社でも新入社員を迎えます。学校でも新学年で、気分を一新して fresh な季節といえます。

日本を代表する見事な桜が満開。テレビや写真で見とれます。

神社に参拝すると巨大な鳥居。樹齢何百年もする大木をどのようにして切り倒して神社まで運搬して建立したのか・・・古人の知恵が偲ばれます。

企画した人、大勢の人を組織し動員して労働した指導者、即ちリーダーがいたことでしょう。

凡人の私達が歴史に残るような偉業を為すことは出来ませんが、古人も個人としては只今の私達と同じ様な凡人だったかもしれません。勿論、修練を積み人格も優れ社会から崇められる人もいたでしょう。

現代でもオリンピックに出場する選手や歌手など、私達が知っている有名な人々は日々絶え間なく努力を積み重ねた結果としてその地位に達し、その上で最高を維持すべく研鑽を積んでいます。

すなわち過去の努力の結晶として現在があり、現在の努力が将来の地位を決める事になります。

私達はどうせ凡人だからと努力する事を諦めていないでしょうか。弊社の多くは電気技術者ですが、できる先輩は日々の努力と失敗、工夫を重ねて今日を迎えています。

昨今は、テレビや雑誌、興味を引くものが沢山あり、都会では飲食だけでなく観劇やスポーツ観戦、パチンコなどの賭け事などの面白そうなものが宣伝されており、つつい見ていると時間を費やしてしまいます。

自分が努力して向上する時間を無駄にしています。今日一日ぐらいと思ってもそれが重なり一年間無為に過ごす事になるかも知れません。

過去の行動の良いことも悪いことも努力したことも無為に過ごしたことも、これら全てが今日の私達の姿につながっています。

将来、希望する夢を描いてコツコツと日々努力しましょう。その結果として、健康・長寿・人格者としての評価など良い人生を過ごせるでしょう。

アスリートなど特定の能力が優れている人を例示しましたが、目的の主体は“幸福”な一生を過ごせることであると思います。体力の維持と共に精神＝心の向上に配慮したいものです。



取締役相談役 向井 隆



編集後記



4月も下旬となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。毎日“どこで何人コロナに感染”という情報ばかりで気が滅入ってしまいます。春なのに外出自粛とは・・・。

さて、突然ですが昔の私と父の会話からクイズです。

私「勉強したくないな」

父「うーん・・・じゃあクイズだ。お金や物は取られると無くなるが、取られても無くならないものはなんでしょうか」

皆さんはわかりますか。私はわかりませんでした。父はとても勉強家で読書家でした。取られても無くならないもの、それは知識でした。

父「どんなに沢山取られても自分にも残るだろ。自ら人にあげて役に立つこともできる。勉強すると貯まっていくのだよ」

私「すごいね！」

初めての仕事や業務は点から始まり、徐々に点が集まり(知識)、やっとな線(理解)になります。コロナに関する点も早く線になって、終息に向かってほしいものです。

総務部 大竹 敦子

ESC 情報NO. 153 春季号



発行所 北海道電気技術サービス株式会社

〒069-0832

北海道江別市西野幌 120-8

TEL(011)384-8888 FAX(011)384-8889

<http://www.hesc.co.jp/e-mail:hesc@hesc.co.jp>

発行者 向井 隆

編集者 総務部